

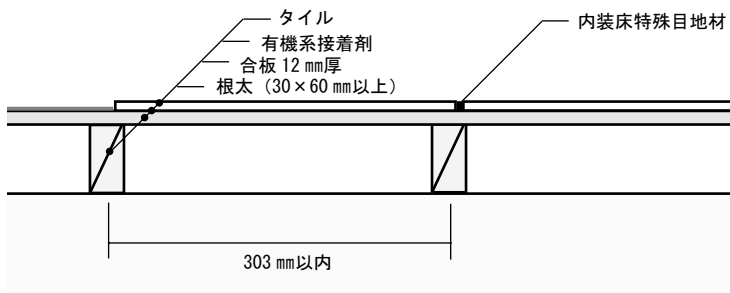
内装床タイル施工説明書

屋内床（水掛かりのない）にタイルを施工する場合の施工方法について説明します。
商品ページをご確認の上、屋内床に使用可能な床タイルをご使用ください。

合板下地の場合

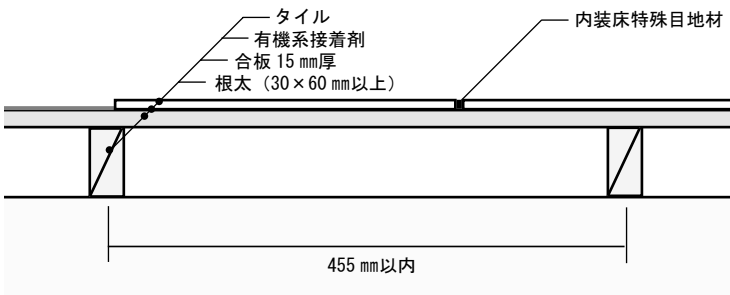
下地となる部材は、反りやねじれが生じないように必ず乾燥材を使用してください。

内装床特殊目地材を使用する場合



根太ピッチが 303 mm以内の場合

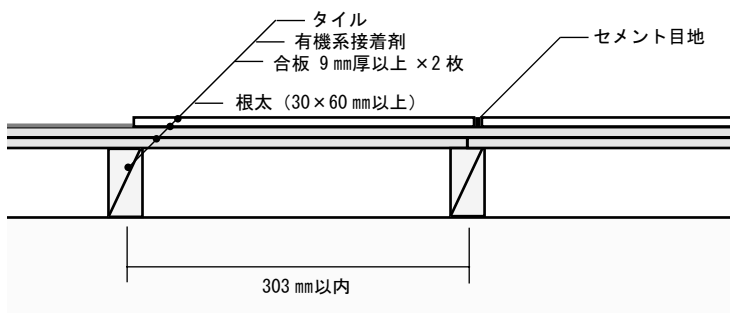
根太ピッチが303mm以内の場合、
根太の上に床下地合板（針葉樹合板
3×6版、12mm厚）を張り、有
機系接着剤にてタイルを張ってくだ
さい。目地は弊社弾性目地材（内装
床特殊目地材）をご使用ください。



根太ピッチが 455 mm以内の場合

根太ピッチが455mm以内の場合、
根太の上に床下地合板（針葉樹合板
3×6版、15mm厚）を張り、有
機系接着剤にてタイルを張ってくだ
さい。目地は弊社弾性目地材（内装
床特殊目地材）をご使用ください。

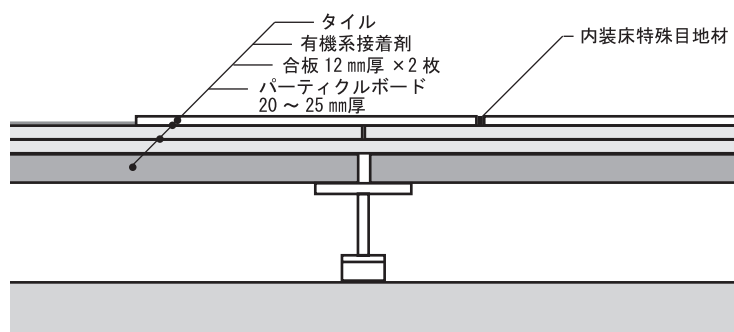
セメント目地材を使用する場合



根太ピッチが303mm以内の根太
の上に床下地合板（針葉樹合板3×
6版、9mm厚）を二枚重ねて張っ
てください。このとき、上合板のつ
なぎ目と下合板のつなぎ目が重なら
ないように注意してください。有機系
接着剤にてタイルを張ってください。

二重床の場合

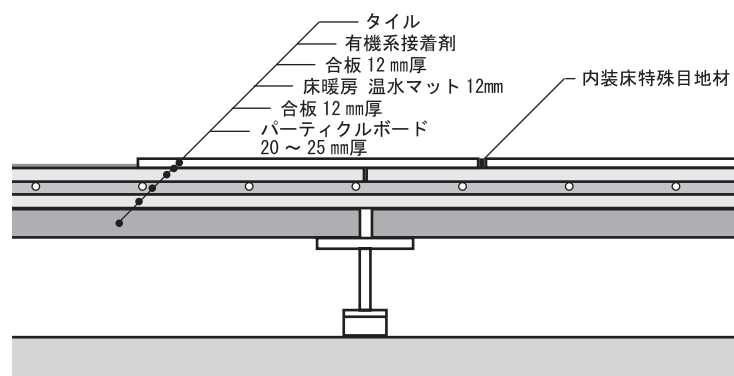
下地となる部材は、反りやねじれが生じないように必ず乾燥材を使用してください。
工法についてはメーカーの仕様書に従ってください。



支持脚の上にパーティクルボード（20～25mm）を張り、その上に合板（針葉樹合板3×6版、12mm厚）を二枚重ねて張ってください。このとき、上合板のつなぎ目と下合板のつなぎ目が重ならないよう注意してください。タイルは有機系接着剤にて張ってください。目地は弊社弾性目地材（内装床特殊目地材）をご使用ください。

床暖房の場合

下地となる部材は、反りやねじれが生じないように必ず乾燥材を使用してください。
床暖房については温水式、電気式等の方式があり、方式によって床構造が変わりますので、メーカーの仕様書に従ってください。下記イラストは、一般的な温水式床暖房の例です。



推奨接着剤

アイカエコエコボンドSE-40床タイル・石材用/アイカ工業株式会社